

（参考）

2020年3月期 第1四半期連結決算概要2019年8月1日
三井化学株式会社
(単位：億円)

1. 損益状況

| | 2019年3月期 第1四半期 | 2020年3月期 第1四半期 | 増減 | 2019年 3月期実績 | 2020年3月期 業績予想 (8/1発表値) | |
|---------------------|-------------------|-------------------|--------|----------------|---------------------------|--------|
| | | | | | 2Q累計 | 通期 |
| 売上高 | 3,563 | 3,428 | △ 135 | 14,829 | 6,850 | 15,400 |
| 営業利益 | 263 | 207 | △ 56 | 934 | 380 | 1,050 |
| 経常利益 | 314 | 198 | △ 116 | 1,030 | 360 | 1,100 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 235 | 125 | △ 110 | 761 | 200 | 760 |
| 為替レート 円/US\$ | 109 | 110 | 1 | 111 | 110 | 110 |
| 国産ナフサ価格 円/KL | 48,800 | 45,400 | △3,400 | 49,400 | 42,700 | 46,000 |

2. セグメント別 売上高・営業利益

・売上高

(単位：億円)

| | 2019年3月期 第1四半期 | 2020年3月期 第1四半期 | 増減 | | | 2019年 3月期実績 | 2020年3月期 業績予想 (8/1発表値) | |
|--------------|-------------------|-------------------|-------|-----|-------|----------------|---------------------------|--------|
| | | | 計 | 数量差 | 価格差 | | 2Q累計 | 通期 |
| | | | | | | | | |
| モビリティ | 973 | 941 | △ 32 | 4 | △ 36 | 3,954 | 1,950 | 4,300 |
| ヘルスケア | 362 | 352 | △ 10 | 7 | △ 3 | 1,466 | 700 | 1,600 |
| フード&パッケージング* | 475 | 456 | △ 19 | 24 | 5 | 1,994 | 900 | 2,100 |
| 基盤素材 | 1,701 | 1,635 | △ 66 | 21 | △ 87 | 7,165 | 3,200 | 7,200 |
| その他 | 52 | 44 | △ 8 | - | △ 8 | 250 | 100 | 200 |
| 合計 | 3,563 | 3,428 | △ 135 | 6 | △ 129 | 14,829 | 6,850 | 15,400 |

・営業利益

(単位：億円)

| | 2019年3月期 第1四半期 | 2020年3月期 第1四半期 | 増減 | | | | 2019年 3月期実績 | 2020年3月期 業績予想 (8/1発表値) | |
|--------------|-------------------|-------------------|------|-----|------|------|----------------|---------------------------|-------|
| | | | 計 | 数量差 | 交易条件 | 固定費他 | | 2Q累計 | 通期 |
| | | | | | | | | | |
| モビリティ | 108 | 101 | △ 7 | 1 | 2 | 4 | 427 | 210 | 445 |
| ヘルスケア | 36 | 38 | 2 | 2 | 3 | 1 | 136 | 60 | 155 |
| フード&パッケージング* | 33 | 33 | 0 | 8 | 3 | 5 | 178 | 75 | 205 |
| 基盤素材 | 110 | 61 | △ 49 | 8 | 44 | 3 | 278 | 90 | 330 |
| その他 | △ 10 | △ 10 | 0 | - | - | 0 | △ 14 | △ 15 | △ 15 |
| 全社費用等 | △ 14 | △ 16 | △ 2 | - | - | △ 2 | △ 71 | △ 40 | △ 70 |
| 合計 | 263 | 207 | △ 56 | 19 | 40 | 3 | 934 | 380 | 1,050 |

3. 特別損益主要内訳

(単位：億円)

| | 2019年3月期 第1四半期 | 2020年3月期 第1四半期 | 増減 | 2019年 3月期実績 | 2020年3月期 業績予想 (8/1発表値) | |
|------------|-------------------|-------------------|-----|----------------|---------------------------|------|
| | | | | | 2Q累計 | 通期 |
| 資産売却益 | 1 | 1 | 0 | 37 | 1 | 1 |
| 事業譲渡益 | - | - | - | 7 | - | - |
| 受取保険金 | - | - | - | 114 | - | - |
| 固定資産処分・売却損 | △ 4 | △ 3 | 1 | △ 44 | △ 19 | △ 39 |
| 減損損失 | - | △ 6 | △ 6 | △ 14 | △ 6 | △ 6 |
| 投資有価証券評価損 | △ 2 | - | 2 | △ 2 | - | - |
| 関連事業損失 | - | △ 6 | △ 6 | - | △ 6 | △ 6 |
| 火災による損失 | - | - | - | △ 75 | - | - |
| 合計 | △ 5 | △ 14 | △ 9 | 23 | △ 30 | △ 50 |

4. 貸借対照表

（単位：億円）

| | 資産の部 | | | | 負債及び純資産の部 | | |
|-------------|----------|----------|-------|---------------|-----------|----------|--------|
| | 2019年3月末 | 2019年6月末 | 増 減 | | 2019年3月末 | 2019年6月末 | 増 減 |
| 流 動 資 産 | 7,867 | 7,535 | △ 332 | 有 利 子 負 債 | 4,850 | 5,084 | 234 |
| 有 形 固 定 資 産 | 4,431 | 4,651 | 220 | そ の 他 負 債 | 3,844 | 3,551 | △ 293 |
| 無 形 固 定 資 産 | 294 | 299 | 5 | 自 己 資 本 | 5,519 | 5,492 | △ 27 |
| 投 資 等 | 2,419 | 2,421 | 2 | 非 支 配 株 主 持 分 | 798 | 779 | △ 19 |
| 資 産 計 | 15,011 | 14,906 | △ 105 | 負 債 純 資 産 計 | 15,011 | 14,906 | △ 105 |
| | | | | (NET D/Eレバ) | (0.68) | (0.76) | (0.08) |

5. キャッシュ・フロー

（単位：億円）

| | 2019年3月期 第1四半期 | 2020年3月期 第1四半期 | 増 減 | 2019年 3月期実績 | 2020年3月期 業績予想 (8/1発表値) | |
|----------------|-------------------|-------------------|---------|----------------|---------------------------|---------|
| | | | | | 2Q累計 | 通 期 |
| 営業キャッシュ・フロー | 255 | 116 | △ 139 | 1,095 | 530 | 1,250 |
| 投資キャッシュ・フロー | △ 151 | △ 196 | △ 45 | △ 643 | △ 530 | △ 1,200 |
| （フリーキャッシュ・フロー） | (104) | (△ 80) | (△ 184) | (452) | (0) | (50) |
| 財務キャッシュ・フロー | 44 | △ 116 | △ 160 | △ 141 | △ 200 | △ 150 |
| そ の 他 | 3 | △ 8 | △ 11 | △ 1 | - | - |
| 現 預 金 等 増 減 | 151 | △ 204 | △ 355 | 310 | △ 200 | △ 100 |
| 現 預 金 等 残 高 | 939 | 894 | △ 45 | 1,098 | | |



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月1日

上場会社名 三井化学株式会社

上場取引所 東

コード番号 4183 URL <https://www.mitsuichem.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 淡輪 敏

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 小久江 晴子

TEL 03-6253-2100

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|---------|------|--------|------|--------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期第1四半期 | 342,796 | 3.8 | 20,730 | 21.3 | 19,832 | 36.9 | 12,521 | 46.7 |
| 2019年3月期第1四半期 | 356,263 | 15.3 | 26,342 | 3.4 | 31,415 | 11.0 | 23,473 | 3.4 |

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 8,634百万円 (66.3%) 2019年3月期第1四半期 25,652百万円 (11.5%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期第1四半期 | 64.19 | |
| 2019年3月期第1四半期 | 118.14 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-----------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2020年3月期第1四半期 | 1,490,626 | 627,141 | 36.8 |
| 2019年3月期 | 1,501,074 | 631,739 | 36.8 |

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 549,212百万円 2019年3月期 551,915百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期 | | 50.00 | | 50.00 | 100.00 |
| 2020年3月期 | | | | | |
| 2020年3月期(予想) | | 50.00 | | 50.00 | 100.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-----------|-----|---------|------|---------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 685,000 | 5.0 | 38,000 | 23.6 | 36,000 | 38.4 | 20,000 | 52.1 | 102.52 |
| 通期 | 1,540,000 | 3.8 | 105,000 | 12.4 | 110,000 | 6.8 | 76,000 | 0.2 | 389.53 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------------|---------------|------------|---------------|
| 2020年3月期1Q | 204,510,215 株 | 2019年3月期 | 204,510,215 株 |
| 期末自己株式数 | 9,454,561 株 | 2019年3月期 | 9,452,793 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 195,056,129 株 | 2019年3月期1Q | 198,686,437 株 |

2020年3月期1Q

204,510,215 株

2019年3月期

204,510,215 株

2020年3月期1Q

9,454,561 株

2019年3月期

9,452,793 株

2020年3月期1Q

195,056,129 株

2019年3月期1Q

198,686,437 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他関連する事項については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料の目次】

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 9 |
| (会計方針の変更) | 9 |
| (セグメント情報) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(全般的状況)

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年6月30日の3ヶ月間。以下「当四半期」といいます。)における事業環境は、米国での景気回復が継続した一方、米国の通商政策、中国経済の減速、地政学的なリスクなど、世界経済の変動に留意すべき状況が継続しました。日本においては、雇用・所得環境の改善等により、総じて緩やかな回復基調が継続しましたが、今後の海外情勢からの影響など、先行きに不透明感が増してまいりました。

このような情勢のもとで、当社グループの当四半期の業績は以下のとおりとなりました。

(単位：億円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 |
|--------|-------|-------|-------|--------------------------|
| 当四半期 | 3,428 | 207 | 198 | 125 |
| 前年同四半期 | 3,563 | 263 | 314 | 235 |
| 増減額 | △135 | △56 | △116 | △110 |
| 増減率(%) | △3.8 | △21.3 | △36.9 | △46.7 |

売上高は、前年同四半期に比べ135億円減(3.8%減)の3,428億円となりました。これは、販売は堅調に推移したものの、ナフサなどの原燃料価格下落に伴う販売価格低下の影響等があったことによるものです。

営業利益は、前年同四半期に比べ56億円減(21.3%減)の207億円となりました。これは、交易条件の悪化があったことなどによるものです。

経常利益は、前年同四半期に比べ116億円減(36.9%減)の198億円となりました。これは、持分法による投資利益の減少や為替差損益の悪化の影響があったことなどによるものです。

特別損益は、減損損失を計上したことなどにより、14億円の損失となりました。

以上により、**税金等調整前四半期純利益**は、前年同四半期に比べ125億円減(40.4%減)の184億円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期に比べ110億円減(46.7%減)の125億円となり、1株当たり四半期純利益は64.19円となりました。

当四半期のセグメント別の状況は、次のとおりです。

(モビリティ)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ32億円減の941億円、売上高全体に占める割合は27%となりました。また、営業利益は、固定費の増加等の影響により、前年同四半期に比べ7億円減の101億円となりました。以上により、セグメント全体では、減収・減益となりました。

自動車部品及び樹脂改質材用途を中心とする**エラストマー**は、アジアを中心に需要が鈍化し減収となりました。

機能性コンパウンド製品は、欧米・中国での自動車生産減速の影響を受け、減収となりました。

機能性ポリマーは、全般としてICT(情報通信技術)関連需要が停滞する中で確実な需要を獲得し、販売が堅調に推移しました。

海外**ポリプロピレン・コンパウンド**事業は、グローバルな自動車生産が減速する中で、日系顧客向けを中心に販売数量を維持しました。

ソリューション事業は、日本・アジアを中心に自動車開発需要が堅調に推移しました。

(ヘルスケア)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ10億円減の352億円、売上高全体に占める割合は10%となりました。一方、営業利益は、交易条件の改善等により、前年同四半期に比べ2億円増の38億円となりました。以上により、セグメント全体では、減収・増益となりました。

ビジョンケア材料のメガネレンズ用材料は、販売が堅調に推移しました。

不織布は、日本からの紙おむつ輸出減少の影響を受けました。

歯科材料は、販売が安定的に推移しました。

(フード&パッケージング)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ19億円減の456億円、売上高全体に占める割合は13%となりました。一方、営業利益は、販売数量の減少はありましたが、交易条件の改善等により、前年同四半期並の33億円となりました。以上により、セグメント全体では、減収・前年同四半期並の利益となりました。

コーティング・機能材は、販売は安定的に推移し、交易条件の改善等がありました。

機能性フィルム・シートは、包装フィルム分野における販売数量が減少しました。

農薬は、需要は堅調に推移したものの、販売数量は時期ずれ等により減少しました。

(基盤素材)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ66億円減の1,635億円、売上高全体に占める割合は48%となりました。また、営業利益は、国内需要は堅調に推移したものの、海外市況の影響等により、前年同四半期に比べ49億円減の61億円となりました。以上により、セグメント全体では、減収・減益となりました。

ナフサクラッカーの稼働率は、市原工場の設備不具合の影響により前年同四半期に比べ低下したものの、概ね高水準で推移しました。また、**ポリエチレン**及び**ポリプロピレン**は、国内需要を背景に販売が堅調に推移しました。

フェノールは、販売は堅調に推移したものの、海外市況は前年同四半期を下回る水準で推移しました。

(その他)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ8億円減の44億円、売上高全体に占める割合は2%となりました。また、営業損失は、前年同四半期並の10億円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明**(資産、負債、純資産の状況)**

当四半期末の**総資産**は、前期末に比べ105億円減の1兆4,906億円となりました。

当四半期末の**負債**は、前期末に比べ59億円減の8,635億円となりました。また、**有利子負債**は234億円増の5,084億円となりました。この結果、総資産に対する有利子負債の比率は前期末に比べ1.8ポイント増の34.1%となりました。

当四半期末の**純資産**は、前期末に比べ46億円減の6,271億円となり、**自己資本比率**は前期末と同水準の36.8%となりました。

以上により、当四半期末の**ネットD/Eレシオ(ネット有利子負債(有利子負債－現預金・長期性預金)／自己資本)**は、前期末に比べ0.08ポイント増の0.76となりました。

なお、国際財務報告基準(IFRS)及び米国基準を適用している在外連結子会社において、当期よりIFRS第16号「リース」及びASC Topic842「リース」を適用した影響で、リース資産及びリース債務の残高が増加しております。その結果、ネットD/Eレシオも前期末に比べ増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(業績の見通し)

業績予想の修正にあたり、第2四半期連結累計期間の為替レートは110円/\$、国産ナフサ価格は42,700円/KL、通期の為替レートは110円/\$、国産ナフサ価格は46,000円/KLを前提としております。

第2四半期連結累計期間につきましては、第1四半期連結会計期間の実績を踏まえ、売上高や各利益は前回発表時より減少する見込みです。

通期の業績につきましては、下期の経済環境は不透明であり、現時点では下期見込みの算定は困難であるため、前回発表予想値から変更しておりません。

(単位：億円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 |
|-----------------|--------|-------|-------|-------------------------|
| 第2四半期 連結累計期間 | 6,850 | 380 | 360 | 200 |
| 通期 | 15,400 | 1,050 | 1,100 | 760 |

(セグメント別の見通し)

セグメント別の見通しは、以下のとおりであります。

(単位：億円)

| | 売 上 高 | | | | | | |
|-----------------|-------|-------|----------------------|-------|-----|-----------|--------|
| | モビリティ | ヘルスケア | フード& パッケージ ジング | 基盤素材 | その他 | 全社 費用等 | 合 計 |
| 第2四半期 連結累計期間 | 1,950 | 700 | 900 | 3,200 | 100 | — | 6,850 |
| 通期 | 4,300 | 1,600 | 2,100 | 7,200 | 200 | — | 15,400 |

(単位：億円)

| | 営 業 利 益 | | | | | | |
|-----------------|---------|-------|----------------------|------|-----|-----------|-------|
| | モビリティ | ヘルスケア | フード& パッケージ ジング | 基盤素材 | その他 | 全社 費用等 | 合 計 |
| 第2四半期 連結累計期間 | 210 | 60 | 75 | 90 | △15 | △40 | 380 |
| 通期 | 445 | 155 | 205 | 330 | △15 | △70 | 1,050 |

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 111,056 | 90,911 |
| 受取手形及び売掛金 | 310,591 | 292,796 |
| たな卸資産 | 301,890 | 302,401 |
| 未収入金 | 55,288 | 57,156 |
| その他 | 8,570 | 11,048 |
| 貸倒引当金 | △718 | △756 |
| 流動資産合計 | 786,677 | 753,556 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 352,569 | 352,175 |
| 減価償却累計額 | △241,112 | △242,477 |
| 建物及び構築物(純額) | 111,457 | 109,698 |
| 機械装置及び運搬具 | 1,030,949 | 1,027,380 |
| 減価償却累計額 | △889,978 | △892,553 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 140,971 | 134,827 |
| 土地 | 156,556 | 156,502 |
| 建設仮勘定 | 18,515 | 27,605 |
| その他 | 78,508 | 100,792 |
| 減価償却累計額 | △62,944 | △64,328 |
| その他(純額) | 15,564 | 36,464 |
| 有形固定資産合計 | 443,063 | 465,096 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 5,061 | 4,886 |
| その他 | 24,324 | 25,046 |
| 無形固定資産合計 | 29,385 | 29,932 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 151,847 | 150,701 |
| 退職給付に係る資産 | 42,653 | 42,882 |
| 繰延税金資産 | 11,386 | 11,358 |
| その他 | 38,511 | 39,532 |
| 貸倒引当金 | △2,448 | △2,431 |
| 投資その他の資産合計 | 241,949 | 242,042 |
| 固定資産合計 | 714,397 | 737,070 |
| 資産合計 | 1,501,074 | 1,490,626 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 163,908 | 144,233 |
| 短期借入金 | 92,733 | 95,300 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 57,571 | 59,363 |
| コマーシャル・ペーパー | 10,000 | 10,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 426 | 426 |
| 未払金 | 79,245 | 73,974 |
| 未払法人税等 | 9,372 | 5,275 |
| 役員賞与引当金 | 175 | 65 |
| 修繕引当金 | 13,089 | 13,259 |
| 資産除去債務 | 5 | 5 |
| その他 | 32,234 | 34,597 |
| 流動負債合計 | 458,758 | 436,497 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 66,438 | 66,367 |
| 長期借入金 | 254,850 | 252,376 |
| 繰延税金負債 | 11,471 | 11,069 |
| 役員退職慰労引当金 | 243 | 222 |
| 修繕引当金 | 2,682 | 3,672 |
| 環境対策引当金 | 551 | 527 |
| 退職給付に係る負債 | 56,428 | 56,674 |
| 資産除去債務 | 3,203 | 3,132 |
| その他 | 14,711 | 32,949 |
| 固定負債合計 | 410,577 | 426,988 |
| 負債合計 | 869,335 | 863,485 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 125,205 | 125,205 |
| 資本剰余金 | 89,406 | 89,406 |
| 利益剰余金 | 348,202 | 350,660 |
| 自己株式 | △29,869 | △29,873 |
| 株主資本合計 | 532,944 | 535,398 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 21,421 | 20,071 |
| 繰延ヘッジ損益 | △3 | △13 |
| 為替換算調整勘定 | 4,195 | △458 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △6,642 | △5,786 |
| その他の包括利益累計額合計 | 18,971 | 13,814 |
| 非支配株主持分 | 79,824 | 77,929 |
| 純資産合計 | 631,739 | 627,141 |
| 負債純資産合計 | 1,501,074 | 1,490,626 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 356,263 | 342,796 |
| 売上原価 | 275,550 | 265,932 |
| 売上総利益 | 80,713 | 76,864 |
| 販売費及び一般管理費 | 54,371 | 56,134 |
| 営業利益 | 26,342 | 20,730 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 444 | 587 |
| 受取配当金 | 1,124 | 992 |
| 持分法による投資利益 | 4,511 | 1,827 |
| 為替差益 | 627 | — |
| その他 | 674 | 566 |
| 営業外収益合計 | 7,380 | 3,972 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,395 | 1,461 |
| 為替差損 | — | 594 |
| その他 | 912 | 2,815 |
| 営業外費用合計 | 2,307 | 4,870 |
| 経常利益 | 31,415 | 19,832 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 22 | 62 |
| 投資有価証券売却益 | 27 | — |
| 特別利益合計 | 49 | 62 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 411 | 300 |
| 固定資産売却損 | 4 | 6 |
| 減損損失 | — | 603 |
| 投資有価証券評価損 | 168 | — |
| 関連事業損失 | — | 568 |
| 特別損失合計 | 583 | 1,477 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 30,881 | 18,417 |
| 法人税等 | 5,246 | 3,830 |
| 四半期純利益 | 25,635 | 14,587 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 2,162 | 2,066 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 23,473 | 12,521 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 25,635 | 14,587 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 137 | △1,402 |
| 繰延ヘッジ損益 | 14 | △9 |
| 為替換算調整勘定 | 2,511 | △4,686 |
| 退職給付に係る調整額 | 567 | 835 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △3,212 | △691 |
| その他の包括利益合計 | 17 | △5,953 |
| 四半期包括利益 | 25,652 | 8,634 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 23,060 | 7,366 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 2,592 | 1,268 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項**(継続企業の前提に関する注記)**

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)**(税金費用の計算)**

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)**(収益認識に関する会計基準等の適用)**

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2018年3月30日。以下「収益認識会計基準」という。)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2018年3月30日)が2018年4月1日以後開始する連結会計年度の期首から適用できることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この変更が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(IFRS第16号「リース」及びASC Topic842「リース」の適用)

国際財務報告基準及び米国基準を適用している在外連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)及びASC Topic842「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号等の適用については、経過措置として認められている累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他(純額)」が21,596百万円増加し、流動負債の「その他」が2,531百万円及び固定負債の「その他」が19,191百万円増加しております。なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-------------------------|---------|--------|-----------------|---------|---------|------------|---------|
| | モビリティ | ヘルスケア | フード& パッケージング | 基盤素材 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 97,261 | 36,165 | 47,480 | 170,084 | 350,990 | 5,273 | 356,263 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 2,798 | 876 | 263 | 18,911 | 22,848 | 13,745 | 36,593 |
| 計 | 100,059 | 37,041 | 47,743 | 188,995 | 373,838 | 19,018 | 392,856 |
| セグメント利益又は セグメント損失(△) | 10,759 | 3,613 | 3,328 | 10,975 | 28,675 | △1,000 | 27,675 |

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

②報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|--------|
| 報告セグメント計 | 28,675 |
| 「その他」の区分の損失(△) | △1,000 |
| セグメント間取引消去等 | △47 |
| 全社費用等(注) | △1,286 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 26,342 |

(注)全社費用等は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費等であります。

当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-------------------------|---------|--------|-----------------|---------|---------|------------|---------|
| | モビリティ | ヘルスケア | フード& パッケージング | 基盤素材 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 94,136 | 35,158 | 45,612 | 163,454 | 338,360 | 4,436 | 342,796 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 2,924 | 836 | 217 | 16,639 | 20,616 | 14,596 | 35,212 |
| 計 | 97,060 | 35,994 | 45,829 | 180,093 | 358,976 | 19,032 | 378,008 |
| セグメント利益又は セグメント損失(△) | 10,140 | 3,793 | 3,321 | 6,055 | 23,309 | △982 | 22,327 |

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

②報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|--------|
| 報告セグメント計 | 23,309 |
| 「その他」の区分の損失(△) | △ 982 |
| セグメント間取引消去等 | 48 |
| 全社費用等(注) | △1,645 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 20,730 |

(注)全社費用等は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費等であります。